

2024年(令和6年) 2月 7日(水) 第23回例会(通算3005回)

2023-24年度 ◆クラブ会長テーマ◆ 「奉仕の輪を広げよう」

会長：前原 博一 副会長：宮城 早人 幹事：今西 敦之
直前会長：大浜 勇人 副幹事：新里 裕樹 会場監督(SAA) 委員長：新川 正人



世界に希望を生み出そう

2023-24年度 RI 会長テーマ

RI 会長：ゴードン R. マッキナリー

栃木一夫ガバナー 地区基本方針

「持続可能な元気なクラブを実現しよう」

地区の合言葉

「ロータリアンの心に火をつけよう」

” Get the joy of Rotary”

今月のロータリーレート 1\$¥147

八重山の民謡

ハトゥマ

鳩間節(本調子)

※鳩間島は、1701年宮古島の人で「船屋儀佐真」後に改姓して「鳩間儀佐真」の計画と尽力によって古見村から男8人女6人、計14人で山林を開拓し小村を創立し古見村の管轄にしていたが公用に支障を来していたので1703年黒島の保里村から女50人・男100人強制移住をさせ「鳩間村」に独立させたのである。

鳩間島には水田が皆無であるため、蔵元政庁では人頭税貢納の関係で上原と舟浦に鳩間人に借地させて稲作を強制させたのである。鳩間人は田宿屋を建て、2、3泊して耕作に精魂を打ち込んでいた関係上鳩間人の稲作は毎年豊作上原・舟浦の人は怒り出し借地の返還を要求したのである。蔵元政庁では新開拓地を得る迄は返還要求は絶対不可であると厳命されたのである。ここで鳩間の役人は「小浦インダ・福浜・下離」の土地を選定し鳩間の男女総動員して新地を開拓したのである。この無慈悲な鉄面皮の上原や舟浦の人が鳩間に来たら神酒も普通皿ではなく「アディンガー・樗の実の殻」で飲ませ、酒も盃で与えず蛤の殻で与え人間としての待遇をするなどの意。この民謡は島の生涯の喜びを謡いつつその反面には上原と舟浦両村民の無慈悲に対する敵愾心を歌って溜飲がさがったと言う歌である。この歌は無名で詩人の「仲底真那」が1704年頃に「鳩間ユンタ」を謡われたと云い伝えられている。後に当時の役人によって改作され「工工四」に発表されたのが有名な名曲として現在歌われている鳩間節である。

(作歌・作曲 仲底真那) (八重山民謡誌より)

● ハトゥマナカムリ バ ヌブ クバ スィタ バ ヌブ
鳩間中岡 走り登り 蒲葉ぬ 下に走り登りハイヤヤウーテイバ

(鳩間島の中岡の、久葉林の下まで走り登り) ※カイダギ チトゥユル デンヌ マサティ ミグトゥ (以下同じ)

● かいしゃむいだる ムリ クバ チュ ツイ ツイツイ クバ
美しく生えてる森の久葉、美しく揃ってる頂上の久葉

(美しく生えてる森の久葉、美しく揃ってる頂上の久葉)

● マイ トゥー ミワタ イー フニ クル フニ エ
前ぬ 渡ゆ 見渡しば 行く舟 来る舟 うむしるゑ

(前の海を展望すると、西表島へ耕作に行く船、来る船面白眺めである)

2月のプログラム

2/7(水)ゲスト卓話

2/14(水)休会

2/21(水)休会

2/28(水)地区大会振替休会

例会日 水曜日 12:30~13:30

事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311

TEL/FAX(0980)83-2917

E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

◇総会員数：57名 (名誉会員2名・出席免除会員2名)
 ◇出席義務会員数：53名
 ◇出席人数：30名 欠席人数：23名 出席率：56.60%
《司会進行：新川 正人・玉城 一吉》
 ◇ロータリーソング：えんどうの花 四つのテスト
 ◇ソングリーダー：大本 綾子
 ◇ピシター：新田喜信様(第2630地区 可児RC)
 ◇メークアップ：垣本 徳一 櫻井 浩一 遠藤 正夫
 大城 文博 新 賢次

◆ 会長挨拶 ◆
 前原 博一



皆様こんにちは、本日も例会ご参加頂きありがとうございます。去った21日(日)に石垣島マラソンがありました。そして、無事に参加したランナーは制限時間内に完走できました。沿道では多くの会員からの応援もあり、本当にありがとうございました。

今回参加した私以外のランナーは皆さん余裕での完走で、さすがでございました。

私は10kmで制限時間1時間30分のところ、1時間29分54秒でゴールしましたが、結果6秒遅ければアウトで、本当にギリギリでした。

正直10kmは高校の時依頼、約34年ぶりです。内心では制限時間内はかなり厳しいのではないかと感じておりました。

まず、初回の練習で、同じコースを歩いてどれくらいかかるか測ってみると、約2時間、毎週日曜日の練習では、新栄公園のトラックを2周走ると息切れで、歩いてしまいます。

ロータリーであれだけみんなに「マラソンを走ろう」といった本人が、制限時間内に完走できなかつたら本当に会長としてヤバイと感じていました。

これまでの自分なら「根性論」でとにかく走れ、で終わっていたかもしれませんが、今回はなんとか、制限時間内に完走できる方法をとことん考えました。

そこで思いついたのが、「鷹の目、ありの目」または「鳥の目、虫の目」で10kmを考えてみました。

・まずGoogleマップの航空写真でコースの全体像をイメージ
 ・コースを実際歩いてみると2時間かかった。

・少し走りを入れたら30分は短縮できるかも
 マラソンは歩くのはダメなものだと思っていましたが、考えれば制限時間内なら、走って、歩いて、また走っての繰り返しでいけるのではないかと考えつく。

単純で発想ですが、そもそも10kmを歩かず走りぬくものだと考えていましたから、歩いてもいいと自分にOKを出した時から気が楽になりました。そして実際走る、歩く、の繰り返しの練習を实践 新栄公園のトラックは1周300m、10kmだと約33周です。トラックは長方形になっているので長い直線を走る、

そして短い直線は歩くことにしました。

2度10kmに挑戦しましたが、2度とも1時間40分。10分オーバーです。

この10分を短縮するためにどうするかを、また考えました。で思いついたのが、大会当日は大勢のランナーがいます。初めのスタートで10分を短縮するためにスタート1~2kmまでは飛ばして走る、でした。

大会当日、スタートは作戦通り飛ばしました。そして、歩いて、また走っての繰り返し、

結果、1時間29分54秒の完走 計画通りでした。

まさしく、「戦わずして自分に勝つ」の思いでした。

本当はこのような方法ではなく、「普通にもっと走る練習をすれば、いいだろう。」と、言われればごもっともですが、今回のマラソンに参加して、私にとっての大きな気づきは、

それは、「鷹の目とありの目で、考え抜くことの重要性であります。」 このことは、マラソンを通じて感じたことであり、腑に落ちた想いで、本当によかったと思っております。

以上、会長あいさつでした。本日もよろしくお祈りします。

◆ 幹事報告・報告:今西 敦之 ◆

本日は、可児 RC の新田様、どうぞごゆっくりお過ごしくださいませ。そしてこの後の木下会員、本日の卓話宜しくお祈り致します。また、国仲部長、石垣島マラソンの出場のメンバー、御苦労でございました。本日の幹事報告は2点でございます。

1).次週、1/31(水)移動例会となっております。玉城会員の先島ガスに職場訪問となりますので、11:15に現地集合のほど宜しくお願い致します。

2).2/29(木)の地区大会は帝国ホテルにて開催されます。地区大会の懇親会終了後、同会場にて東京上野 RC との姉妹クラブ懇親会を行う予定にしております。会費は、5千円となっておりますので、宜しくお願い致します。

☆ 会員・委員会からの報告 ☆

国仲恵亮会員:石垣島マラソンに向けて、昨年の11月から毎週、日曜日に集まって体を動かすということが、規則正しい生活に繋がってとても良かったという声が上がっていましたので、来年に向けて自分の運動不足を解消するために、体を動かすキッカケになるような定期的な練習会を開催していきたいと考えていますので、これからもぜひ健康的な体を目指して、石垣島マラソンをきっかけにして進んでいきましょう。

石垣島マラソンのリレーでは、5人一組の41組エントリーがあった中で、石垣 RC は見事に10位と上位に組み込むことができました。来年も皆さんで走れたらと思いますので、宜しくお願い致します。

会員卓話:木下 省三 氏

(全日本空輸(株)・ANA あきんど(株) 石垣八重山支店長)

テーマ:ANAが大切にしているもの

私どもの「大切にしているもの」という題で会社のことを皆さんに知って頂ければと思います。

その前に自己紹介として、私は愛知県に生まれて、現在の豊川市で1万人もいないような群部で育ちました。大学に行くま

ではずっとここに居て、海辺の町でございます。大学では、考古・民俗学専攻(先史学コース)で考古学をしていましたけれども、大学3年の時に、父親の会社が倒産して、母親は高校2年の時に他界していたので、働かなければならないということで、卒業後に何とかエア・ニッポン(株)に入社することができました。エア・ニッポンでは東京での配属で、入社して直ぐに沖縄―石垣線の販売を東京でやっておりました。一番長かったのは社長秘書で7年間、その後、福岡に行ったり羽田に行ったりで、2018年から那覇空港に5年間いて、2023年4月から石垣・八重山の方にお世話になっております。

ANA 石垣空港ですが、皆さんに感謝をお伝えできればと思っています。

平成元年(1989年)エア・ニッポンが運航開始をしております。その後、2013年新空港開港、ここから大型化を始めまして、2019年に就航30周年、今年は、35周年ということで、皆さんに育てて頂いたという感謝でございます。

現在の石垣空港全体では、8空港就航していて35便、2022年の乗降客数は延べ2,422,092(往復)全国で15位です。他の空港は国際線のお客様を含んでの15位なので、国内だけですと12位と非常に日本のお客様が多いという状況になっています。その内、私どものANAは羽田から始まって6路線、全日空(ピーチは除く)は100万人の皆様が石垣空港を購入頂いている状況です。グループ全体の話でいきますと、社員数が、40,500名ぐらいです。コロナ前は44,000人いましたが、採用を止めて、退職された仲間もいっぱいいますけど、今は40,000名ぐらいです。コロナで一番強く思ったのは、航空輸送だけだともう1回パンデミック来たら成り立たない、公的な支援を含めて皆さんのお力添えがあって、何とかやってこれたんですが、航空以外の事業もしっかりやって行こうということで、いろんなグループ会社があります。

航空に関連したところ中心にはありますが、中には航空操縦養成の会社もあります。

新しい仲間というところでは、2024年2月からエア・ジャパンという新しい旅客機です。今は全日空便名とピーチ便名を大きくは2つです。エア・ジャパンというブランドの航空会社をソウルとバンコクを就航させます。全席エコノミーですけど、普通のエコノミーよりもちょっとゆったりとしています。料金も全日空よりもお安くして、ピーチよりはちょっと高い、こんな感じのコンセプトです。

私共の大事にするものは、何よりも安全です。共通しているのはグループの「安全理念」というものになりまして、安全というものに特化して理念を持っています。こちらに関しては、飛行機を飛ばす会社だけではなくて、飛行機とは関係ない会社に関してもこのグループ理念を共有しています。なかには、安全を経営の基盤である社会の責務であるとかありますが、確かに仕組みで安全を高めていく、確かに仕組みというのは、手順規定というのはしっかり設けますけども、それを超えて運用面でしっかりと機能するのかとの検証も行っています。安全は何よりも優先する ANAグループ安全理念:安全は

経営の基盤であり社会への責務である 私たちはお互いの理解と信頼のもと確かな仕組みで安全を高めていきます。私たちは一人ひとりの責任ある誠実な行動により安全を追求します。経営理念からつながる理念達成のための行動指針ということで、ANA'sWAYというものになります。

①安全.②お客様視点.③社会への責任.④チームスピリット.⑤努力と挑戦というものを主体にしております。なかでも、チームスピリットというのがありますが、みんな仲良くという感じに捉えがちなんですけど、そうではなくて「和して同せず」ということで「和協」という言葉がありますけれども、真摯に議論し、自的達成のために一致していく姿勢、初代社長の「和協」という言葉を残しました。「信はたていと、愛はよこ糸織りなせ人の世を美しく」2代目が残していますが、現在窮乏・将来有望という言葉です。全日空は初めはヘリコプター2機からスタートしています。当時の社員は9名で全く儲からない会社でした。でも、いつかということで現在窮乏・将来有望というのを噛みしめ、リーマンショックの時、コロナの時も社員はこの言葉を噛みしめてきたこの頃でございます。こういったものが今にも引き継がれての行動指針というのは大事にしています。「感謝しリスペクトする文化」の伝承。お互いを褒め合ひましょうというものを good Job Card というものを使っております。職場を超えて、上司だろうが部下だろうが良かったねというのをカードにして渡す。WEBでも送れるようになりまして、去年は90万枚以上の送付件数がありました。想いを形にして伝えることにより、仲間を尊重し合い、互いに仕事に地震と誇りを持つ風土づくりにつなげています。

「Dow Jones Sustainability World Index」の構成銘柄に7年連続で選定。社会的責任投資、持続可能な社会にこの企業は貢献していますよという取り組みをしているのを、毎年選んでいます。

それから、私どもの会社のなかに人財大学というのを設けています。「建学の精神」の想い、ANAグループにおいては社員は宝、人は皆、自分の能力と可能性を高めたいと思っている。全ての社員に、入社から退職を迎えるその日まで、等しく成長の機会を創造する。「技」を磨き、「徳」を育み、「心」を学ぶ。それら実現へ、人間力(人格・識見)を養い、職場で情熱を持って活躍できる人財創造の拠点、人づくり『人間力(人格・識見)×専門性(技倆)』の拠点として ANA Blus Base が機能します。総合訓練所「ANA Blus Base(ANA ブルーベース)」。パイロットや整備士、地上係員、グランドハンドリング係員などの訓練だけではなく、社外の人との協業や訓練の様子などを学生などに見学してもらうことで、長期的な人財につなげています。やはり、大事なものというのは、人づくりということでもありますけど、イギリスの格付け会社 SKYTRAX 社が、機内や空港におけるサービスおよびスタッフのお客様が一貫して高品質であることが評価され、2013年以降11年連続で最高評価「5スター」をいただきました。これは、マニュアルが素晴らしいのではなくて、一人ひとりが考えて行動できるのかということにかかっています。全ての社員が均一なマニ

ユアルではなくて、一人ひとりの行動のなかでバラツキが出て
しまうものの、規定では出来ない自分のなかで考えて気持ち

を伝えるように行動促進、ANA マジックを推奨しています。
これからももっと皆さんにご教授していただければと思います。

～ 例会 風景 ～



PHF+1 大濱達也パスト会長



- 本日のニコニコ:** ☆新田喜信様: メイクアップさせて頂きました。マラソンで足腰ガタガタです。
☆今西教之幹事: 新田様ようこそおいでくださいました。木下会員、本日は卓話よろしくお願ひ致します。
石垣島マラソン参加のメンバーお疲れ様でした。
☆仁開一夫氏: 木下会員、卓話ありがとうございました。 ☆新川正人氏: 木下会員、卓話ありがとうございました。
☆国仲恵亮氏: 先日は石垣島マラソンお疲れ様でした。全員が完走できてよかったです。また来年も走りましょう！
一次会、二次会、三次会のお釣りをニコニコさせて頂きます。

◆BOX ¥28,710 (累計 ¥481,830) ◆コイン ¥1,549 (累計 ¥32,406) 合計 ¥514,236

2024年(令和6年) 1月 31日(水) 第22回例会(通算3004回)

移動例会: 玉城一吉会員の職場訪問 (株)先島ガス



専務取締役 玉城保様・常務取締役 玉城徳政様
お忙しい中、ありがとうございました。



伊盛米俊氏 18日(日) 吉田 貴紀氏 18日(日) 大島盛幸氏 18日(日) 佐久本達氏 23日(金)

